JTSU
Hachioji MAIL NEWS
輸送サービス労組 八王子地本
JR EAST TRANSPORT SERVICE WORKERS' UNION HACHIOJI
ホームページ
2021.12.31
No. 091
Twitter

八地申
第８号

高円寺駅で発生した人身事故における負傷者の救出活動中に隣接線へ列車を進入させた事象に関する緊急申し入れ

（9月30日申し入れ･12月27日第2回団体交渉開催）

その１

第１回交渉で求めていた時系列から、様々な矛盾点が露呈!!

時系列

①中央快速下り線高円寺駅通過時、人身事故発生。

②高円寺駅手前で停車している上り列車の旅客救済を決定。
下り列車の運転士は上り列車の旅客救済のため、運転台待機の指示を受ける。

③現地責任者（駅）と指令で上り列車が高円寺駅通過後に救出活動を行うことを打ち合わせ、警察・救急隊にも伝える。上り列車通過中、救出活動準備のため救急隊が下り線高尾方線路内に独断で立ち入った。

④上り列車通過後、救出活動開始。

⑤救出活動、車両点検終了後に運転再開。

第１回交渉では「上り列車通過後に負傷者の救出に着手」と回答したが、
実際は救出活動準備のため上り列車通過中に下り線の線路内に立ち入っていた。
下り線・東京方の安全の確保は出来ており、救出活動ではなく
救出準備のために線路内に降りていたので問題はない。

準備はホームで行うべきであり、指示通り上り列車が通過するまでは線路内に立ち入ることはあってはならない！

驚愕の会社回答、続々！

上り列車運転再開は現地責任者（駅）と指令で打ち合わせを行い、安全の確保をしたのちに上り列車の運転再開指示を行った。
駅が上り線の線路内の支障の有無を目視で確認した。

旅客救済のため、上り列車の運転再開を優先させた。
上り列車内に具合の悪いお客さまもいて、二次災害を防ぐために判断した。

下り線・高尾方は安全の確保が取れていない中、救急隊員が個人の判断で線路内に立ち入った。なぜ、線路内に立ち入ってしまったのかまでは聞いていない。

現地責任者と乗務員の打ち合わせは救出活動開始後に行った。
救出活動は必ずしも運転士に確認してから行うとの認識はない。

床下には高圧機器があるため運転士が現場の状況を確認し救出活動の指示をするべきだ！

その２へ続く

JTSU-E
Hachioji MAIL NEWS
輸送サービス労組 八王子地本
JR EAST TRANSPORT SERVICE WORKERS' UNION HACHIOJI
ホームページ
2021.12.31
No. 092
Twitter

八地申
第８号

高円寺駅で発生した人身事故における負傷者の救出活動中に隣接線へ列車を進入させた事象に関する緊急申し入れ その２

（9月30日申し入れ･12月27日第2回団体交渉開催）

２．労使で確認してきた過去の安全議論の教訓が活かされていないことに対する見解を示すこと。また、人命に関わる重大な事象であることから直ちに関係各所に周知徹底を行うこと。
（会社回答）安全の確保について引き続き指導していく。

会社の主張

- これまでの事象とは違い、今回の事象は現地責任者と関係者の間で打ち合わせが行われており、過去の教訓は活かされている。
- 現場への周知は指導助役会議等で議論し、関係各所へ教育するよう指導している。東京支社の事象であり、東京支社の営業部に指導を依頼している。

事象だけの指導ではなく原因と背後要因を特定するために事象を点で見るのではなく面で見るべきだ！

３．人身事故が発生した場合には、支障線区の確認と負傷者の救出活動を最優先に行い、全ての安全確認が終了するまでは支障線区へ列車を進入させないこと。
（会社回答）引き続き、安全を確保したうえで負傷者の救出を行っていく。

会社の主張

- 支障線区には、列車だけでなく関係者も入れない。
- 止められる乗務員をつくるためにも、現場では原則だけでなく、「そうは言っても」という現実に合わせた教育も行っていくことを指導している。

確認事項

- 現場の判断力や対応力を上げていく教育や訓練を行っていく。
- 列車を進入させる判断は指令ではなく現地責任者が行う。
- 周知については、他支社含め八王子支社ではビジネス推進部を通じて営業職場等関係箇所へ伝えていく。

「いのち」を最優先する風土を、職場からつくりだそう！